

DEPARTMENT OF MOLECULAR MEDICINAL CHEMISTRY

分子創薬化学研究室

2022. 6



ORGANIC CHEMISTRY

教授
佐野 茂樹
Shigeki SANO

分子創薬化学研究室では「ヘテロ原子の特性を活用する新反応および機能性分子の開発と創薬への応用」を研究課題の柱とし、薬学としての独自性と学際性を備えた有機化学的研究の世界レベルでの展開を目指し、次のようなテーマに取り組んでいます。

- 1) HWE反応を鍵反応とするグリセロリン脂質合成法の開発
- 2) Garegg-Samuelsson反応を基盤とするHWE型試薬の合成開発
- 3) 安定型イソインドール誘導体の合成ならびに新規蛍光標識剤の開発
- 4) ジケトピペラジンの分子構造特性に基づく機能性分子の創製
- 5) アレニルエステルを基盤とするヘテロ五員環合成法の開発
- 6) ヘテロ環化合物合成を基盤とする医薬品・農薬素材の探索

The main concern of this department is "development of new reactions, functional molecular devices, and new candidate compounds for drugs".

研究室の情報はホームページ（「分子創薬化学」で検索、またはQRコードで！）に掲載しています。詳細についてのご質問等は、研究室（6階東）をお訪ね下さい。



Members of Our Lab.



2022-06-01 撮影
長井記念ホール前にて

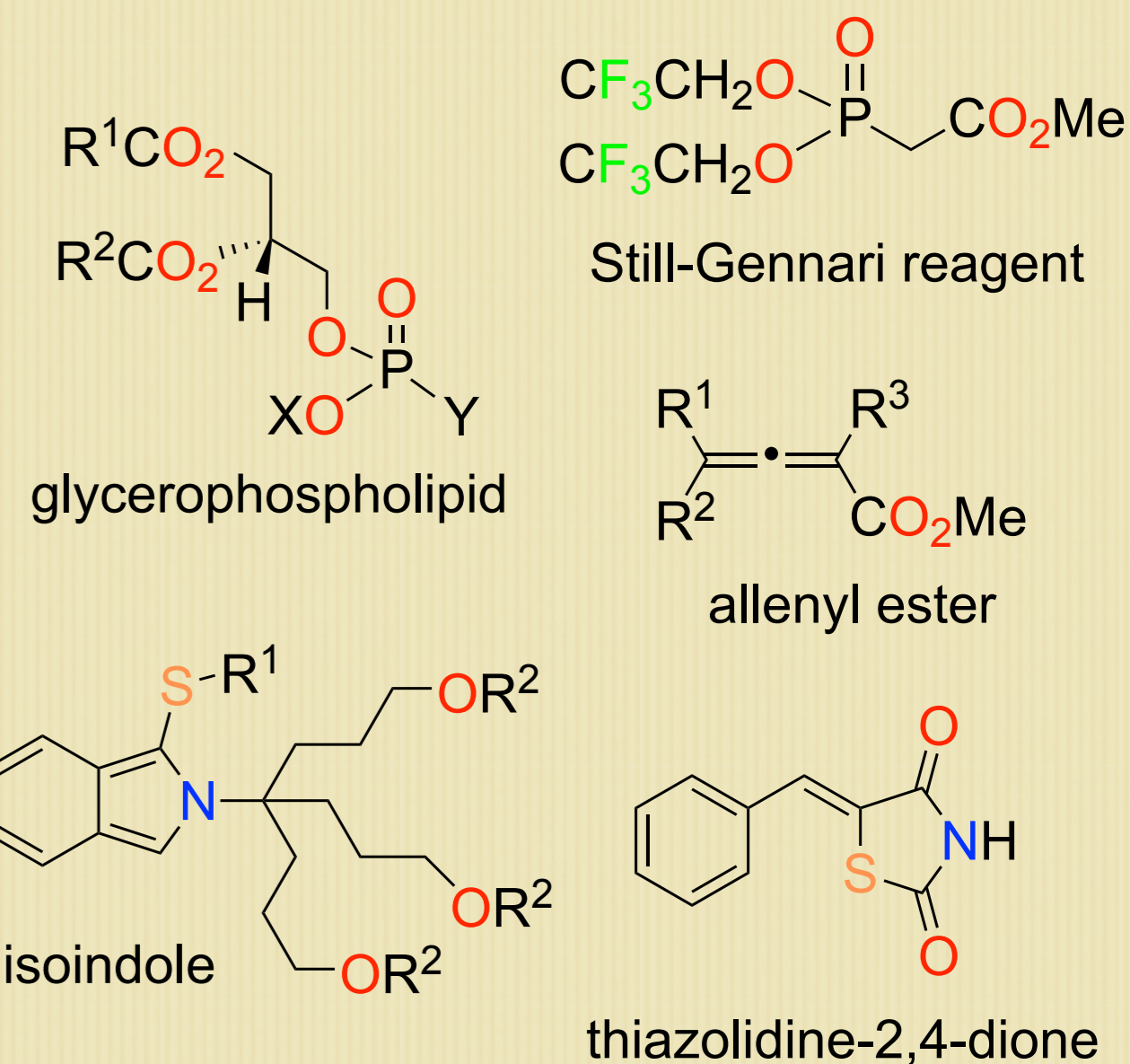
技術補佐員
竹内 菜穂子
Nahoko TAKEUCHI

学部 薬学科 4名
創製薬科学科 7名
大学院 博士前期課程 5名
博士後期課程 1名

Key Words 創薬化学
高選択的反応 機能性分子

講師
中尾 允泰
Michiyasu NAKAO

Key Compounds



令和3年度修士論文

- ・今橋 縁「光学活性混合ホスホン酸エステルの合成とエナンチオ選択的HWE反応への応用」
- ・僧津 真之介「イソシアナートのHWE反応による3-イミノアクリル酸エステルの合成研究」
- ・岡崎 遼太郎「3-イミノアクリル酸メチルのホスファ-マイケル付加反応による3-ジ(アルコキシホスホリル)アクリル酸メチルの合成研究」
- ・田原 昌和「ビス(ベンジルチオ)ホスホリル酢酸メチルとケテンのHWE型反応によるアレニルエステルの合成研究」
- ・舟田 遥乃「エナンチオ選択的HWE反応を指向した光学活性1,3,2-チアザホスフィナン誘導体の合成研究」

令和3年度卒業論文（薬学科）

- ・清水 蘭愛「近赤外蛍光標識試薬ICG-ATTの新規誘導体の合成研究」

令和3年度卒業論文（創製薬科学科）

- ・武居 智之「Synthesis of 2-(Iminomethyl)benzaldehyde as a Precursor for the Formation of Isoindoles with Methyl Mercaptan」
- ・中尾 壮汰「Synthesis of Tetrasubstituted Thiophenes via Tandem Thia-Michael/Dieckmann Condensation of Methyl 3-(Phenylimino)acrylates」
- ・山田 祥熙「E-Selective Horner-Wadsworth-Emmons Type Reactions of Methyl 2-[Bis(benzylthio)phosphoryl]acetate with Aldehydes」